

多様性の重視

裸の王様

2019.01.29

No.49

校長 渡邊 幸二

学校では毎日いろんなことが起きます。その対応・決断はまさに正解のない問題ばかりです。そんな時心強いのは、**自分と違う意見を言ってくれる人の存在**です。みんなステレオタイプのような意見ばかりだと、何となく安心のような気もしますが、全く反対側の考えを知らずに判断して、窮地に陥る危険も大です。権威的、つまりカリスマ校長であればあるほど、**裸の王様**になる危険もあるのではないのでしょうか。

昨日の事案でも、マイスターのEさんをはじめ、美砂さんなどいろんな方が、さまざまなアイデアを提供してくれました。頼りなさそうな私を心配して、みなさんご助言くださるのだと思いますが、本当にありがたいことです。今後ともどうか遠慮なさらず、気づいたときに教えていただけることを願っています。



民主主義社会を支える市民の育成

3学期の始業式の日、子ども達には難しすぎる言葉だったと思いますが、「**ダイバーシティ(多様性)**」という話をしました。グローバル化の世の中では、多国籍の人種が共存するという発想にとどまらない、子どもたちの普段の生活や学習の中でも多様性は重要であるという意味で使わせていただきました。

教育現場(に限らないことですが)で恐いのは、ある事象(事故・災害、もしかすると学習など)に対して、**誰もが何も疑わずに同じ思考・行動をとってしまうこと**だと思います。いわゆる紋切り型、Aならば即Bというような無思考での、ステレオタイプの人間を作り出さないこと、そうならないことが重要だと思うのです。いろんな考えがあって、その中で自分なりに思考・判断しながら最良と思える生き方をしていける人をつくり出すことが、民主主義社会を支える市民を育成していくことにつながると思うのです。

K. Hさんは、算数「平均」の学習で、次のような課題を提示してくれました。

サッカーの決勝戦に、あと一人選ぶとしたら、どちらを出した方が勝つそうですか？



ぼくの最近7試合の得点だよ。

3	2	4	2	3	2	4
点	点	点	点	点	点	点

2.85・・・

おれの8試合の得点はすごいんだぞ～!

1	1	5	2	0	5	0	2
点	点	点	点	点	点	点	点

おれなんが5点も決めたことあるんだぞ～!

2.62・・・



紋切り型で答えれば「出来杉君!」となるでしょう。しかし、いろんな見方・考え方を鍛える視点があれば、ジャイアンの爆発力にも注目できる、というものでした。こういう正解のない課題を提示することで、子どもたちは「多様性」を学んでいけるのだと思います。浜田小学校が目指す「**じりつと公益・貢献**」する人も、そんな多様性を兼ね備えた人(=市民)だと思います。そういう自立した人、みんなのために行動できる市民を育てるシチズンシップを培う教育でもありたいものです。